

石岡市議選で

やさとおか の たか お
やさとおか 岡野孝男さんの
公認決定!

石岡市政に
立憲民主党の旗を

立憲民主党は4月に行われる石岡市議選で、現職(4期)の岡野孝男さんを公認候補として擁立することを決定しました。

岡野孝男さんは、次のように決意と政策を述べています。



岡野孝男 プロフィール

1948年八郷町上曾に生まれる
葦穂小学校、葦穂中学校、県立石岡第一高等
学校を卒業。

1971年八郷町役場入庁。

2003年役場を退職し、八郷町議選初当選。

2007年石岡市議選に当選し、以後3期連続
当選。

現在、石岡市議会議長

立憲民主党茨城県連合幹事長

家族：妻、子ども夫婦、孫3人の7人家族

趣味：読書、将棋、愛犬と散歩

【岡野孝男後援会事務所】

石岡市上曾1659

TEL/FAX 0299-44-0399

誰もが安心安全に暮らすために、東海第2原発の再稼働に反対します。

子どもは社会の宝です。私は、みんなで子育てを応援する仕組みをつくりま

また、介護保険事業の保険料抑制とサービスの強化をめざし、高齢者福祉の充実に努めます。

昨年12月、茨城県にも立憲民主党が立ち上がりました。私は県連合幹事長として、地元・石岡市で立憲民主党の旗をしっかりと掲げ、市民に信頼される市政を実現するとともに、議会改革の先頭に立ってまいります。

希望のあるまちめざして

—みんなで創ろう石岡市—

- 産業振興による活力ある元気なまち
- 自然と調和したまち
- 豊かな心を育てる教育のまち
- 心が通う共に支えあう福祉のまち
- 子育てしやすく若い世代に魅力あるまち

2019.03.02

立憲民主党いばらきキックオフ集会を開催

キックオフ! 茨城から政治の流れを変えよう!

3月2日、県民文化センターで「立憲民主党いばらきキックオフ集会」を開催しました。

茨城県連合代表の難波奨二・参議院議員が主催者挨拶から始まり、立憲民主党役員室長の阿久津幸彦・衆議院議員から党本部挨拶、副代表の大河原雅子・衆議院議員、県連合役員紹介、2019統一自治体選挙の公認予定候補3人からは決意表明が。最後には、会場の皆様、県連合執行部、そして4月の統一自治体選に臨む予定候補が「上を向いて歩こう」を合唱し、草の根の声をしっかりと政治へ届けるため、茨城において立憲民主党を大きく育てていく気持ちを共有しました。



立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

2019 統一地方選挙 立憲ボトムアップビジョン

あなたと一緒に、地域をもっと良くする

ボトムアップの春



皆さんの声に押されてつくられた立憲民主党に所属する私たちは、めざす社会の姿と共通理念、活動原則を多くのひとたちとつくり上げてきました。そして、ここに統一地方選挙へ向けての「立憲ボトムアップビジョン2019」としてまとめました。

1. 困った時はお互いさま、誰も置き去りにしない社会

私たちは、一つの色に染め上げ、強いものがより強くなる社会から、本気で互いの多様性を認め合い、ひとりひとりが持ち味を発揮でき、困った時はお互いさまと言える社会を地域からめざします。

2. 格差をなくし地域経済を元気にする社会

格差が広がると経済は成長しないことはOECDやIMFの調査でも明らかです。地域から格差を是正することで、誰もがいつまでも安心して暮らせ、居場所と出番のある社会をつくることで地域から経済を発展させます。

3. 原発ゼロで持続可能な社会

国民の多くが望むのが原発ゼロです。地域でエネルギーをつくり、雇用を生み、地域経済を活性化し、環境を守る持続可能な社会をめざします。

めざす社会の姿

ボトムアップ
ビジョンの
詳しい内容は
こちらをご覧
下さい。



日常の声こそ、 政治の力です。



あなたも“立憲パートナーズ”に

これまでの日本の政党は、どこか政治家と国民との間に壁をつくってきました。「立憲パートナーズ」は、「党员」や「サポーター」といった政党の応援団ではありません。政治家と国民は、民主主義を前に進める対等なパートナーであるべき。「民主主義は市民の主体的な参加によって成り立つ」という理念を実現していくためのチャレンジこそ、立憲民主党の使命です。まずは、あなたの地域の活動から参加してみませんか。ボトムアップの政治はあなたから始まります。

参加する

年会費500円
登録はホームページ
または
立憲民主党茨城県連合
(029-350-5588)へ。

